

Bryn Roberts Trio

[Profile]

ブリン・ロバーツ Bryn Roberts : piano



カナダ出身。

モンリオールにあるカナダの名門マギル大学に入学。

フレッド・ハーシュに師事し、1998年に優秀な成績で卒業する。卒業後はモンリオールを中心に演奏活動始める。2000年、メイナード・ファーガソン・ビッグバンドに参加し、アメリカやイギリスをツアーしロンドンの名門クラブ『ロニー・スコット』での1週間に渡る公演後、2001年にニューヨークに移り刺激的で多様な音楽が交差する状況下でリーダー、サイドマンとしての経験を重ねる。説得力のある彼の演奏と作曲はニューヨークのジャズシーンでもすぐに注目される。

2005年、同じカナダ出身のサクソ奏者シェーマス・ブレイクが参加したリーダー作『Bryn Roberts / Ludlow』をFSNTから発表、大きな話題となる。シェーマス・ブレイク、クリス・チーク、クリス・ポッター、ラーゲ・ルンド、ビクター・ルイス、ケンドリック・スコット等、ニューヨークのトップミュージシャンとの共演も多く、またアラン・ファーパー九重奏団のメンバーとして3つのレコーディングに参加し、"Chamber Songs"というアルバムではブリン・ロバーツの楽曲をフィーチャーしている。

最新作『FABLES』ではシェーマス・ブレイクがソプラノサクソに持ち替えメロディアスな非4ビート曲『Nightsong』で印象的な演奏を披露し、また活気あふれるドラミングのジョナサン・ブレイクをフィーチャーしての最新作は大きな反響をよんでいる、

今ニューヨークで最も期待されるファーストコールのピアニストである。

ジョー・マーティン Joe Martin : bass



1970年カンザス州生まれ。

祖父はジャズピアニスト、父はクラリネット奏者、母はアマチュアのヴァイオリン奏者、

弟はドラマーという音楽一家の中で育ち、7歳の時にチェロを始める。学校のスクールバンドではトランペットも演奏した。15歳の時に初めてエレキベースに触れ、その魅力の虜になり、プログレッシブロック、フュージョン、ファンク等を聴く。18歳でコントラバスを始め、"De Paul University"に通いつつLarry Grayの元でクラシック、ジャズの両方を学ぶ。2年後、さらにJazzに集中できる環境を強く望み、ニュージャージーの"ウィリアム・パターソン大学"に転校する。そこでTodd Coolman, Rufus Reid, Harold Mabern等からジャズを学ぶ。

その後、プロとして活動を始めAndy Bey, Bill Charlap, Art Farmer, Aaron goldberg, Ari Hoenig, Lionel Loueke, Brad Mehldau, Mingus Big Band, Jean Michel Pilc, Chris Potter, Maria ,schneider, Jaleel Shaw, Mark Turner等、多くのミュージシャンと共演する。

また、作曲センスも素晴らしく、彼のデビューアルバム「Passage」は音楽評論家、ミュージシャンの両方から高く評価されている。ジョー・マーティンは現在のニューヨークのジャズシーンで最もひっぱりだこのベーシストの一人で、温かいサウンド、卓越した聴覚、柔軟なハーモニーセンス、叙情的なソロで良く知られ、様々なミュージシャンと共演している。 <http://www.joemartinbass.com/>

ロドニー・グリーン Rodney Green : drums



ニュージャージー州カムデン生まれ。

幼いころから教会でゴスペルとソウルミュージックに囲まれて育ち、ドラムを演奏始める。14才の時に本格的にドラム・レッスンを受け始め、ジャズ、ファンク、ソウルミュージックを学ぶ。16才でフィラデルフィアのジャズクラブで演奏を始めると間もなく、ボビー・ワトソンからの誘いを受け世界中をツアーする。

17才の頃からは活動の拠点をニューヨークに移し、すぐに、チャーリー・ヘイデン、ラビ・コルトレーン、リズ・ライト、エリック・リード、ベニー・グリーン等、数多くの主要アーティストと共演を重ねる。

その後数年間はクリスチャン・マグブライド、グレッグ・オズビー、トム・ハレル、マルグルー・ミラー等のグループで演奏し、またダイアナ・クラール・グループのドラマーとして2年間活動をとにする。

現在は豊かな経験と卓越した技術で自己のグループを牽引するとともに、作曲と創造的な次なるプロジェクトに情熱を燃やし、同時にテレンス・ブランチャード、ウイントン・マルサリス、ステフオン・ハリス、アダム・ロジャース、アビー・リンカーン、ハービー・ハンコック、ダイアン・リーブス等、著名なアーティストとの共演を続け、ニューヨークのファースト・コール・ドラマーとして活躍している。